

川崎重工業株式会社

広報室【東京】Tel. (03)3435-2130 【神戸】Tel. (078)371-9531 www.khi.co.jp

NO. 2008086

2009年1月30日

各 位

会 社 名	川崎重工業株式会社
代表者名	取締役社長 大橋 忠晴
(コード番号 7012	東京① 大阪① 名古屋①)
問合せ先	広報室
	室長 伴 俊作
	(TEL. 03-3435-2130)

会社分割による建設機械事業の再編のお知らせ

川崎重工は、本日開催の取締役会において、2009年4月1日をもって、当社の建設機械事業を会社分割し、その事業を当社完全子会社「株式会社KCM」（以下、KCM）に承継することを決定し、分割契約書を締結しましたので、お知らせします。

なお、本会社分割は完全子会社へ事業部門を承継させる簡易会社分割であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

また、本分割と同時に、当社の完全子会社である株式会社カワサキマシンシステムズ（以下、KMS）の営む事業のうち、建設機械の国内販売およびサービス事業等を、2009年4月1日をもって会社分割し、当社完全子会社である株式会社KCMJ（以下、KCMJ）へ承継します。

1. 会社分割の目的

当社は、日立建機株式会社（以下、日立建機）、TCM株式会社（以下、TCM）と3社で2011年から実施予定の次期排ガス規制に対応するため、新型ホイールローダの研究開発を共同で行います。

当社は組織再編を通じて、日立建機およびTCMとのホイールローダ事業に関する提携事業を円滑に進めるとともに、新会社に対して、営業・技術・資金を含む経営支援を行い、川崎重工業グループとしての総合力の発揮、グループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。

2. 会社分割の要旨

(1) 分割の日程

2009年1月30日 分割契約書承認取締役会
2009年1月30日 分割契約書調印
2009年4月1日 分割期日（効力発生日）

(2) 分割方式

① 分割方式

当社を分割会社とし、当社が本事業を承継させるために予め設立したKCMを承継会社とする吸収分割であり、同社が本分割に際して発行する株式の総数（普通株式59,940株）の全てを当社に割り当てる物的分割です。

当社は、会社法第784条第3項に定める簡易分割により株主総会の承認を得ないで本分割を行います。

② 当分割方式を採用した理由

当社建設機械部門の製販一体運営体制の効率的な構築、およびKCMにおいて、事業の遂行に必要な各種許認可等を事前に取得し、分割効力発生日から支障なく事業を開始するために上記分割方式を採用しました。

(3) 分割により減少する資本金等

分割に伴う資本金等の変更はありません。

(4) 当社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

新株予約権は発行しておりません。

当社の新株予約権付社債の取扱いに変更はありません。

(5) 会計処理の概要

本分割は、当社完全子会社を承継会社としていますので、簿価引継法を採用します。

(6) 承継会社が承継する権利義務

① 資産、負債および各種契約に付随する権利義務

建設機械事業に関する資産、負債およびこれに付随する権利義務を承継します。ただし、分割契約書に別段の定めのあるものは除きます。

なお、債務の承継については、免責的債務引受の方法によるものとします。

② 雇用契約

建設機械事業に主として従事する従業員との間の雇用契約を承継します。

(7) 債務の履行の見込み

当社および承継会社が負担すべき債務については、確実に履行できると判断しています。

3. 新会社の概要

2009年4月1日予定

(1)商号	株式会社KCM (英文社名 KCM Corporation)
(2)事業内容	建設機械の設計、製造、販売、ならびに修理等の事業
(3)本店所在地	兵庫県加古郡稲美町
(4)代表者	取締役社長 三河内 正
(5)役員	取締役社長 三河内 正 取締役 田中 愛一郎<新任> (非常勤) 成松 郁廣 (非常勤) 芝原 貴文 監査役 坂元 啓助 (非常勤) 浅野 肇 <新任> (非常勤) 川本 和弘 <新任> (注) <新任>の取締役および監査役は、本分割に際して新たに就任する取締役および監査役である。
(6)資本金	30億円
(7)発行株式数	60千株
(8)株主資本	約60億円(分割時見込み)
(9)総資産	約230億円(分割時見込み)
(10)売上高	約200億円(2009年度見込み)
(11)従業員数	約400人(分割時見込み)

4. 分割当事会社の概要

2008年9月30日現在

	分割会社	承継会社 [2009年1月設立時]
(1)商号	川崎重工業株式会社	株式会社KCM
(2)事業内容	鉄道車両、土木建設機械、航空機、ジェットエンジン、汎用ガスタービン、原動機、各種プラント・産業機械、環境装置、鋼構造物、二輪車、四輪バギー車(ATV)、産業用ロボットなどの製造・販売等	建設機械の設計・製造・販売・修理等
(3)設立年月日	1896年(明治29年)10月15日	2009年1月5日
(4)本店所在地	兵庫県神戸市中央区三丁目1番1号	兵庫県加古郡稲美町岡2680番地
(5)代表者	取締役社長 大橋 忠晴	取締役社長 三河内 正
(6)資本金	104,328百万円	3百万円
(7)発行済株式数	1,669,629千株	60株
(8)純資産	313,592百万円(連結)	3百万円

(9) 総 資 産	1,360,772百万円(連結)	3百万円
(10) 決 算 期	3月31日	3月31日
(11) 大株主および 持株比率	1. 日本トラスティ・サービス信託銀行 株(信託口) 3.46% 2. 株みずほ銀行 3.44% 3. JFEスチール株 3.36% 4. 日本生命保険相互会社 3.23% 5. 日本マスタートラスト信託銀行株 (信託口) 3.12%	川崎重工業株 100%

5. 分割する事業部門の内容

(1) 建設機械部門の内容

ホイールローダ等建設機械の設計・建設・販売ならびに修理等

(2) 分割する部門の経営成績(2008年3月期連結)

(単位:百万円)

	分割対象事業部門(a)	分割会社実績(b)	比率(a/b)
売 上 高	45,950	1,501,097	3.06%

(3) 譲渡資産、負債の項目および金額(分割時見込み)

(単位:億円)

項目	金額	項目	金額
流 動 資 産	163	流 動 負 債	146
固 定 資 産	70	固 定 負 債	27
資 産 合 計	233	負 債 合 計	173

6. 分割後の当社の状況

(1) 商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金および決算期

いずれも分割による変更はありません。

(2) 業績に与える影響

承継会社は、当社完全子会社であるため、連結業績に与える影響はありません。

7. 事業提携について

- ① 当社は2008年10月31日に、日立建機およびTCMとの間で、ホイールローダ事業に関する事業提携を締結しております。
- ② 上記事業提携の一環として、KCMに対して、2009年度中を目途に、日立建機が第三者割当増資の形で資本参加し、出資比率34%を保有する予定です。また、日立建機は、それから3年後以降に、KCMの過半数の出資比率を取得するオプションを保有しております。
- ③ 事業提携に関する内容は、2008年10月31日付けで発表した「ホイールローダ事業に関する提携合意のお知らせ」を参照願います。

8. KCMJ（当社完全子会社のKMSから分社する建機販売・サービス会社）の概要

2009年4月1日予定

(1)商号	株式会社KCMJ (英文社名 KCMJ Corporation)
(2)事業内容	建設機械の国内販売およびサービス事業
(3)本店所在地	兵庫県加古川市平岡町
(4)代表者	取締役社長 花房 新一郎
(5)役員	取締役社長 花房 新一郎 取締役 宮澤 猛 小林 孝 (非常勤) 三上 雅典 <新任> 監査役 (非常勤) 坂元 啓助 (注) <新任>の取締役および監査役は、本分割に際して新たに就任する取締役および監査役である。
(6)資本金	3億円
(7)発行株式数	6千株
(8)株主資本	約 5億円 (分割時見込み)
(9)総資産	約 70億円 (分割時見込み)
(10)売上高	約 120億円 (2009年度見込み)
(11)従業員数	約 240人 (分割時見込み)

以上